第三号議案

2025年度活動計画（案）

ナルク本部から2025年度の運営方針として「ナルク発展委員会の活動深化」「地区連絡協議会体制の充実」「経営基盤の確立」などを重要課題とした方針が示されました。当「天の川クラブ」は、昨年30周年を迎え、これを節目にナルクの理念を遵守し会員同士の助け合いを支える「時間預託活動」またボランティア活動の原点である「社会貢献活動」にも積極的に取り組みます。人生100年時代において、元気な高齢者が参加できるボランティア活動は多岐にわたっています。「天の川クラブ」は本部の方針を受けて次の目標を掲げて邁進してまいります。

（1）会員拡大への取り組み

- ①会員数の減少また退会者の流れを止め、仲間を増やす活動に力を入れる。
友人や知人などに声掛けし、具体的な活動内容やナルクの魅力を伝える。
- ②一般市民にも研修や実際の活動を体験出来るイベントなどを実施し、ナルクの知名度を高め会員増を図ります。

（2）事業活動推進で安定的な拠点運営を図る。

- ①「生涯学習情報プラザ」「枚方市生活支援員養成研修」などを継続運営し参加者を増やします。支援員養成研修はナルク「ホームページ」や「広報ひらかた」にて受講者募集の記事を掲載してPRします。
- ②「生活援助訪問事業ナルクすこやか」（認可事業）は開設9年目となります。地域包括支援センターと連携を密にし、更に充実した運営に努めます

（3）高齢化社会に対応できるための環境づくりの構築に努めます。

- ①地区会は全ての活動の原点であり情報共有の場でもあります。年2回以上会員の拠り所として楽しい集いの内容で気軽に参加できるように努めます。
- ②「ひとり暮らし支援」を継続し「安心のナルク」を目指します。

「天の川クラブ」の全世帯の約3割を占めるひとり暮らし世帯の再調査を実施し、「ああ 困ったなあ」と思ったとき、「助けて」と言えるような対応が出来るよう目指していきます。社会からの孤立感などを軽減しニーズに合わせた支援ができる体制づくりを図ります。

（4）地域社会への貢献活動

「環境美化活動」「子育て支援活動」「福祉施設の支援活動」「青色防犯パトロール活動」は引き続き積極的に取り組みます。

（5）「北河内地区連絡協議会」では地区連絡協議会担当理事と連携を密にして課題の改善に取り組みます。

1. 時間預託活動

近藤秀子・角山正男・一宮順世

会員相互扶助活動及び福祉施設活動は、気候変動や感染症に弾力的かつ臨機応変に対処することとし、安全・事故防止に努め利用要望に応えます。

高齢化等による提供者の減少が進んでいます。新規入会者の方々に提供活動への参加の促進に努めます。

(1) 会員相互扶助活動

①家事・介助支援は時間預託による会員相互扶助を柱にして活動します。

低迷している家事支援活動ですが、私たちに出来る支援の仕方を考え地区に広めていきます。

地区によっては、活動の機会を広げて、活性化に取り組まれています。他の地区が刺激を受けて活発な活動が広がることを期待します。

話し相手活動は、需要が多いと言われながら提供活動に結びついていないのが現状です。利用者の要望を把握し活動に繋がります。

②庭・植木の手入れは、提供者の高齢化が進む現状に鑑み、安全を第一として利用者のニーズに応えます。

予め、利用希望想定者をリスト化し、年間を通じた段取りを考え、無理のない提供計画をもとに実行します。

③ハウスヘルパーは、1人での活動には限度があり新規提供者の掘り起こしに努めます。

要望の多い包丁研ぎに対応します。地区での包丁研ぎも出張いたします。

④送迎は、安心、安全をモットーに、また感染症対策を十分とって活動します。

昨年度同様、新規の提供者を募集します。

車椅子搭載の福祉車操作方法の習得者の拡大に努めます。

⑤パソコン指導は、ウィンドウズ 10 のサポート期限が2025年10月14日となることからウィンドウズ 11 への買い替え需要が予測されます。

提供者を掘起し、サポート体制を充実します。

地区会の場で、パソコン利用方法などパソコンで困っていることがないか、聞き取りやパソコンサポート事例を紹介し、提供活動の増加に結び付けます。

(2) 福祉施設支援活動

今年度も施設からの支援要望に対するボランティア活動を通じて、地域社会に貢献し、施設での生活がより充実することを目指します。同時に会員の生きがいにつながるような活動を目指します。

「エイジフリー・ライフ香里園」「エイジフリー・ライフ星が丘」そして、新しく加わりました施設「枚方ガーデンテラス」への提供活動に積極的に参加出来るよう努めます。

さらに新しい活動の部門を開拓するとともに、新しい提供者の掘り起こしを推進します。

2. 奉仕活動

辻 洋子・一宮順世

奉仕活動は、ボランティア活動の原点であり地域貢献活動という大きな任務を担っており、外部活動に積極的に取り組みます。

(1) 福祉施設支援活動

施設利用者との交流の中で、地域社会への貢献とともに会員の生きがいとなる活動を目指します。同時に高齢社会における自らの生き方を学びます。

また同好会（ウクレレ、マジック、絵手紙、盆踊り、麻雀等）の協力を得て、施設の要望に応じて活動に取り組みます。

(2) 子育て支援活動

「子ども安全見守り隊」「すこやか広場きょうぶん」「広場さぷり」等、乳幼児から学童まで幅広い支援活動を進めます。親子が気軽に参加できるように、また子ども達とのふれあいを通じ会員自身の生きがいにも繋げていきます。

「子ども安全見守り隊」は子どもの登下校の挨拶運動や見守り安全確保活動を継続します。

(3) 環境美化活動

①行政と連携して、河川や公園などの清掃活動を積極的に継続していきます。

②本年度も「ナルクデー2025」実施。

実施日：2025年4月5日（土）（次の3会場で実施）

・岡東中央公園 ・楠葉中央公園ほか ・けやき通り

③「天野川クリーン&ウォーク」

実施予定日：10月25日（土） 多数の参加を呼び掛けます。

(4) その他外部活動

①ひらかた市民活動支援センターや社協開催のイベントに積極的に参加します。

- ・サプリ村野 NPO フェスタ、防災学校
- ・赤い羽根街頭募金、社協福祉フェスティバル

②「青色防犯パトロール」は、活動を開始以来重要な地域貢献活動として定着しています。

本年度も登録車 7 台で枚方市内全域の子ども見守りと街頭犯罪の抑止として巡回し地域防犯に寄与します。また、新規活動登録者の増員を図ります。

③「ハンドマッサージ活動」は、活動者を新規開拓し勉強会など実施します。

NPO フェスタや防災学校などへ参加します。

3. 事業活動

佐野友保・近藤秀子・和田亮吉

本年度も枚方市から次の事業の受託と認可を受け運営していきます。

(1) 事業 A：行政からの情報入手に努め対応可能な新規事業に積極的に取組ます。

(2) 事業 B：生涯学習情報プラザ（受託事業）

①4年間の受託契約2年目です。2F 情報ルームの施設運営として9時～21時の二人体制を更に改善を進めます。パソコンを積極的に活用できるようにテキストを工夫して市民が気軽に受講できるように取り組みます。

②セキュリティ面からUSB利用禁止になりデジタル情報の管理・保管面で

運営手順を明確にして安心して業務を円滑に進めれるように取り組みます。

③ウインドウズ11を導入し、また高精細度のプロジェクターが導入されたことを活かして講座内容をより判り易く出来るように取り組みます。

講師のスキルアップで講座説明内容を工夫し、受講率の向上を図ります。

④前年同様スタッフの補充に取り組み、スタッフ全員の協力で安心して業務を持続できる体制を推進します。

(3) 事業C：枚方市生活支援員養成研修（受託事業）

枚方市生活支援員養成研修を6月と11月の2回実施し「ナルクすこやか」への登録を勧めて支援員の増員を図ります。今年からカリキュラムのコマ数に変更されたので講師の枠が変わります。講師陣には気持ちも新たに取組んで頂けるものと期待しております。

(4) 事業D：生活援助訪問事業「ナルクすこやか」（認可事業）

生活援助訪問事業は、9年目の活動となり、前年度の支援者不足には充足できるよう取り組んでいきます。具体的には支援員養成研修の新規受講者増が必須であるため、昨年同様受講者増を行政にも働きかけていきます。

4.同好会活動

向井範雄

同好会は誰もが気軽に参加できる活動であり、現会員の参加はもとより、退会者を食い止め、新会員の確保のための一役を担い「楽しいナルク」の実現のため、ふれあいルームの活用などを通じて同好会が身近な存在に感じられるよう努めます。また同好会数が減っているので、新規の同好会を積極的に呼びかけます。本年1月に参加者や世話人の高齢化により休部となった「カワセミ」は、運営方法を見直すことで継続するか検討します。

地域への奉仕活動にも同好会の特長を活かし積極的に参加できるよう支援します。

5.会員活動促進

向井範雄・西川昌子

ナルク会員で良かったと思えるよう、会員相互の連携と会員個々が活動を通じて生きがいと明日への活力、喜びを得られるよう各活動に取り組めます。

(1) 地区会

①地区会の活性化が「天の川クラブ」全体の活性化、活力に繋がるとの意識のもとに「楽しい集い」として年2回以上の開催に努めます。又、代表、部門担当が参加し一体感あるナルク活動の理解と活動への参加を促進します。

②地区会について運営委員会での情報交換や地区世話人交流会等を通じてノウハウを話し合う等の企画にも取り組んでいきます。

(2) 会員研修

会員研修は、日常生活に密着したテーマを取り上げ、会員同志の交流を持ち、ボランティア活動に生きがいを見出す大切な研修です。枚方拠点の会員のみならず、北河内エリアの近隣拠点や広く一般市民も参加してもらえるように工夫し、次の研修を開催いたします。

- ①認知症の理解と対応（7月～8月）
- ②シニアのメイク講座スキンケア等（10月～11月）
- ③コーディネーター養成講座（2月～3月）

（3）イベント

次のイベントを実施します。

- ①定時総会：6月5日（木）・「枚方市総合文化芸術センター別館」
- ②秋のイベント：10月15日（水）・「枚方市総合文化芸術センター別館」
イベントを通じて会員の交流と親睦を深めます。

（4）活動区分別交流会

同じ活動に取り組む会員が活動に際しての課題やその解決策について、話し合いや連携を深めて共有化を図る為、年2回程度の交流会開催を働きかけます。交流会の内容は当面の課題対応だけでなく、ニーズについて根本的な掘り下げを行い過去の対応にとらわれない新しい時代に相応した活動の在り方についても検討共有化を図ります。

又、コーディネーター養成講座修了者の積極的参加を図るよう取り組みます。

6. 事務局活動

岡本年昭

- ①事務局として「天の川クラブ」の動向を常に把握して、情報の共有化に努め、窓口として親しまれ信頼されるよう対応します。
- ②会員管理の担当として、誤りのない活動実績入力及び適切な日々の管理、適切なファイリングにより各会議等に必要なデータ提供を的確に行います。
- ③事務局スタッフが高齢化や健康問題で少なくなる状況にあり、引き続き事務局要員の補充に努めます。（会計、入力、当番、広報、総務等）
- ④各種会議の運営について、一方的な報告のみに終わることなく、参加者全員が発言できる風通しの良い内容となるように努めます。
- ⑤ 本年もふれあいルームでの展示作品を募集いたします。

7. 広報渉外

向井範雄

- ①会報「天の川」は、広報紙としてタイムリーな内容、そして常に会員から親しまれ身近に感じられる情報の発信源を目指します。
- ②毎月、ナルク会報と会報「天の川」を公共施設に配布、ひらかた市民活動支援センター発行「ひらせんナビ」にナルク記事を掲載してPRに努めていきます。
- ③ホームページは、タイムリーな更新、役立つ情報の掲載などにより充実した内容を目指して取り組んでいきます。
- ④枚方市主催の「春休みボランティア体験」のように、行政及び関係団体との連携を強化します。
- ⑤枚方市民活動支援センターと連携し、NPO フェスタや防災学校で一般市民との交流を深めます。